

情報処理安全確保支援士特定講習 講習情報

大日本印刷株式会社

サイバー・インシデントレスポンス・マネジメントコース 基礎演習

| | | | |
|--------|---------------------------------|-----------|------|
| 実施機関名 | 大日本印刷株式会社 | | |
| 講習名 | サイバー・インシデントレスポンス・マネジメントコース 基礎演習 | | |
| 特定講習番号 | 21-001-001 | | |
| 講習形態 | リモート形式又は集合形式 | 定員（1回あたり） | 32名 |
| 受講日数 | 5日間 | 受講時間 | 40時間 |
| 受講料 | 770,000（円/税込み） | | |

| | | | | |
|---------------------------|--|-------------|------|-------------|
| 対象分野 <ITSS+（セキュリティ領域）> | 主な分野 | セキュリティ監視・運用 | 関連分野 | デジタルプロダクト開発 |
| 講習内容 | 実務者向けコース全ての基礎となるインシデントレスポンスのスキルを身につけるためのコース。 一般企業のWindows系仮想環境にサイバー攻撃を受けてチームで対処するハンズオン演習になります。 | | | |
| 具体的な到達目標 | ・仮想環境上で仕掛けられたサイバー攻撃にチームで連携して対処し、攻撃の検知・調査・分析・対処・封じ込めを行って攻撃の性質や再発防止策を報告する。 ・攻撃シナリオにあらかじめ設定された攻撃・対処のチェック項目に基づいて、進捗度が70%を超えることを目標とする。 ・知識や技術習得度は講師による総合的な判定を行う | | | |
| 修得できるスキル | インシデントハンドリング、脆弱性対策、インシデントレスポンス、セキュリティ監視・検知、デジタルフォレンジック、マルウェア解析、脅威・脆弱性情報の収集・分析・活用 | | | |
| 講習の理解・習得のために推奨される実務経験 | セキュリティ担当者、またはIT分野で3年以上の実務経験のある方 | | | |
| 講習の理解・習得のために推奨される知識・技術 | Windowsサーバ・クライアント、ネットワーク（TCP/IP、およびHTTP等の代表的な上位プロトコル）、マルウェア対策の基礎知識。 | | | |
| 技術・知識の到達度の把握・測定方法 | ・演習環境上の社内ネットワークへのサイバー攻撃に対して、何割対応できたか。（チーム評価） ・演習環境上のITシステムに障害が発生した際に、復旧までの所要時間の程度。（チーム評価） ・チーム演習時に設定された役割（リーダー、ネットワークシステム担当等）の遂行度。（個人評価） | | | |
| 修了認定の判断基準 | ・出席率が70%を超えること。 ・演習・訓練におけるインシデント対応において、予め設定されたチェック項目に基づく進捗度が70%を超えること。 ・知識や技術習熟度に関しては、講師が総合的な判定を行う。 | | | |
| 修了認定基準に満たない受講者への措置 | ・知識や技能習熟度が判定基準に達しない受講者は、再受講（有償）。 | | | |
| 受講者に対するサポート体制 | 受講生10名程度ごとに講師を1名常駐させ、受講状況を目視にて監視する。 サイバーレンジ訓練時には受講生の手元画面をモニターすることで進捗を把握し、適切なサポートを行う。 | | | |
| 講習実施施設所在地 | 東京都新宿区市谷田町1-14-1（DNP市谷田町ビル内） | | | |
| ホームページ | https://www.dnp.co.jp/cka/course/cirm-basic-training.html | | | |